

文芸連の質問に関する解答及び逆質問状

学生会中央執行委員会

一、いわれている文芸連、政経部自治会の和泉新学館3階の仏文研部室の使用問題についての解答

周知の通り、今年7月、MUD支部による和泉学生会中央執行委員会及び文芸連の和泉新学館3階の仏文研部室の破壊行為があり、MUD支部とをともにこの破壊行為を行った者か仏文研の人間の中にも車か確認されたので、我々学生会中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会は、「中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会室の破壊行為についての見解を仏文研に対して7月段階から一貫して要求しつづけてきた。

しかしながら、7月のMUD支部の破壊行為があった日から仏文研の人間は一貫して不在であり、このようち状況の中で我々は随日仏文研の掲示板への伝言あるいは仏文研と連絡をとれる人間を確保して、この問題についての見解要求をしてきたにも拘わらず、7月21日に対する仏文研の対応は一切な答へた配である。

我々としては、学生会中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会室が破壊されて現実に部室の使用が不可能になっており、あくまでも暫時的に仏文研の部室を現在使用しているものである。

従って、我々は、7月段階に仏文研の人間がMUD支部とともに中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会室を破壊したことについて、仏文研に正式な見解を要求するとともに、この仏文研の部室の使用問題については、今後仏文研のサークル活動が為される以上、仏文研のサークル活動に対しては、今後は仏文研の部室を使用しているものではないことを明らかにしておく。

二、文芸連に対する逆質問状

MUD支部の中に多数の文芸連の構成メンバーがいたという事実にかんがみ、7月のMUD支部の和泉中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会室及びサークル部室、その他本校4号館学生会中央執行委員会及び文芸連、政経部自治会室の破壊行為についての、文芸連の正式な見解を説明を段階的に入水し手続に要求する。

以上。

昭和47年10月19日

和泉大学学生会中央執行委員会